日本

# FA 326
# 安全データシート

規則(EC)No. 1272/2008に基づく
V1.0 / 11.10.2021

## セクション1
物質/混合物および会社/事業の特定

### 1.1 製品ID
物質/混合物および会社/事業の特定

| | |
|---|---|
| **製品名:** | FA 326 |
| **製品番号:** | 700500 |
| **ブランド:** | Additive Manufacturing Technologies |
| **REACH番号:** | 該当なし |
| **CAS番号:** | 920-66-1 |

### 1.2 物質または混合物に関して記載されている用途に対して助言された用途

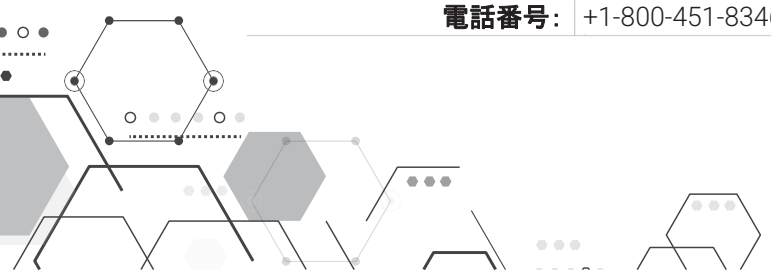
| | |
|---|---|
| **特定された用** | 実験用化学物質、物質生産、研究開発 |

### 1.3 安全データシート供給者の詳細

| | |
|---|---|
| **会社情報:** | Additive Manufacturing Technologies<br>Unit N, Europa House<br>Airport Business Park<br>Sheffield<br>S9 1XU |
| **電話番号:** | +44 114 312 3344 |
| **メールアドレス:** | Info@amtechnologies.co.uk |

### 1.4 緊急電話番号

| | |
|---|---|
| **電話番号:** | +1-800-451-8346 (顧客ID 17546) |



## セクション2
# 危険有害物質の特定

### 2.1 物質または混合物の分類

規則(EC)No. 1272/2008に基づく分類

**H302** - 急性毒性、経口(区分4)
**H332** - 急性毒性、吸入(区分4)
**H314** - 皮膚腐食(区分1B)
**H361** – 生殖毒性、(区分2)

### 2.2 表示要素

**規則(EC)No. 1272/2008に基づく表示**

| | |
|---|---|
| **絵文字:** |  |
| **注意喚起語:** | 危険 |
| **危険有害性情報:** | H302 + H332 – 飲み込むまたは吸入すると有害<br>H314 – 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷<br>H361 – 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い |
| **注意事項:** | P201 – 取り扱う前に特別の指示を受ける<br>P280 –保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。<br>P301 + P330 + P331 – 飲み込んだ場合:口をゆすぐ。無理に吐かせないこと。<br>P303 + P361 + P353 –皮膚(または髪)に付着した場合:汚染された服を直ちに脱ぐ。水/シャワーで洗い流すこと。<br>P304 + P340 + P312 – 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい状態を保つ。気分が悪い場合は、中毒センター/医師に連絡すること。<br>P305 + P351 + P338 – 目に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄 を続けること。 |

### 2.3 他の危険有害性

追加の注意事項は、安全データシート全体に記載されている。

## セクション3
組成/成分情報

### 3.1 物質

| | |
|---|---|
| **異名:** | HFIP、ヘキサフルオロイソプロパノール |
| **化学式:** | C3H2F6O |
| **分子量:** | 168.04g/mol |
| **CAS番号:** | 920-66-1 |
| **EC番号:** | 223-059-4 |

**規則(EC)No. 1272/2008に基づく有害物質**

| 化学成分 | 分類 | 濃度 |
|---|---|---|
| **1,1,1,3,3,3-ヘキサフルオロ-2-プロパノール** | | |
| CAS番号:920-66-1<br>EC番号:213-059-4 | 急性毒性4; 急性毒性 4; 皮膚腐食1B;<br>生殖毒性2; H302、H332、H314、H361 | ≥99.5 % |

**本セクションで言及されている危険有害性情報の全文については、セクション16を参照すること。**

## セクション4
応急処置

### 4.1 応急処置の説明
**一般的なアドバイス:** 医師に相談すること。この安全データシートを担当医師に見せること。
**吸入した場合:** 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい状態を保つこと。医師に相談すること。
**皮膚に付着した場合:** 汚染された服と靴を直ちに脱ぐこと。石鹸および大量の水で洗い流すこと。医師に相談すること。
目に入った場合:大量の水で15分以上注意深く洗い流し、医師に相談すること。
**飲み込んだ場合:** 無理に吐かせないこと。意識の無い場合は口から何も与えてはならない。水で口をゆすぐこと。医師に相談すること。

### 4.2 最も重要な症状および作用(急性および遅発性)
最も重要な既知の症状および作用は表示で概説されている(セクション2.2を参照すること)。炎症や赤みのおそれがある。

### 4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態
その他必要な措置なし

## セクション5
# 火災時の措置

### 5.1 消火剤
**適切な消火剤**：水噴霧、耐アルコール泡、粉末消火剤、二酸化炭素。

### 5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性
燃焼時に二酸化炭素/一酸化炭素の有毒ガスが発生する。
燃焼時にフッ化水素の有毒ガスが発生する。

### 5.3 消防士へのアドバイス
必要に応じて、自給式呼吸器を着用すること。
皮膚や目への接触を防ぐために、保護服を着用すること。

## セクション6
# 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置
個人用保護具を使用する。蒸気、霧、ガスを吸入しないこと。適切な換気を確保する。人員を安全なエリアへと避難させる。人体保護については、セクション8を参照すること。

### 6.2 環境的予防措置
安全に実施できる場合は、バンディングを使用してさらなる漏出・流出を防ぐ。排水管や川に排出しないこと。

### 6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材
不活性吸収剤で吸収し、有害廃棄物として廃棄する。適切な密閉容器に移し、廃棄すること。

### 6.4 他のセクションの参照先
廃棄については、セクション13を参照すること。

## セクション7
# 取扱いおよび保管上の注意

### 7.1 安全な取り扱いのための注意事項
皮膚や目との接触を避ける。蒸気や霧を吸入しないようにすること。注意事項については、セクション2.2を参照すること。

### 7.2 安全な貯蔵のための条件（不適合条件を含む）
涼しい場所で保管すること。容器をしっかりと密閉し、乾燥した換気の良い場所で保管する。開封した容器は注意深く再密閉し、漏れを防ぐために立てた状態で保管すること。

### 7.3 具体的最終用途
セクション1.2で言及されている用途以外に定められた具体的な用途はない

## セクション8
# 暴露防止および保護措置

### 8.1 管理指標
**職場管理パラメーターのあるコンポーネント**：職業暴露限度値のある物質は含まない。

### 8.2 暴露管理
**適切な工学的管理**
労働安全衛生法に従って取り扱う。休憩前や仕事日の終わりに手を洗うこと。

**個人用保護具**
目/顔面の保護：密閉性の高い安全ゴーグル。フェイスシールド（20cm以上）NIOSH（US）やEN166（EU）などの政府標準規格のもとでテストおよび承認された目の保護具を使用すること。

**皮膚の保護**：手袋を着用して取り扱う。使用前に手袋を点検すること。本品が皮膚に付着することを避けるために、適切な方法（手袋の外面を触らないように）で手袋を外す。使用後の汚染された手袋は、適用法および優良試験所基準に従って廃棄すること。手を洗って、乾かすこと。
使用する保護手袋は、規制（EU）2016/425およびそこから派生したEN 374の使用を満たす必要がある。

**身体の保護**：化学物質から保護する完全なスーツ。保護具の種類は、特定の職場における危険物質の濃度や量に応じて選択すること。

**呼吸器の保護**：リスク評価によって過式呼吸用保護具が適切であると示されている場合、工学的管理のバックアップとして、多目的コンビネーション・フルフェイス呼吸用保護具（US）またはAXBEK型（EN 14387）の呼吸用保護具カートリッジを使用すること。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合は、フルフェイス送気マスクを使用すること。NIOSH（US）やCEN（EU）などの政府標準規格のもとでテストおよび承認された呼吸用保護具およびコンポーネントを使用すること。

**環境暴露コントロール**：安全に実施できる場合はさらなる漏出・流出を防ぐ。本品を排水管に流さないこと。

## セクション9
# 物理的および化学的性質

### 9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

| | | |
|---|---|---|
| a) | **外観:** | 無色透明の液体 |
| b) | **臭い:** | データなし |
| c) | **臭いの閾値:** | データなし |
| d) | **pH:** | データなし |
| e) | **融点/凝固点:** | - 4 °C – lit。 |
| f) | **初留点と沸騰範囲:** | 59 °C – lit。 |
| g) | **引火点:** | データなし |
| h) | **蒸発速度:** | データなし |
| i) | **燃焼性(固体、ガス):** | データなし |
| j) | **上限/下限可燃性または爆発限界:** | データなし |
| k) | **蒸気圧:** | 20 °Cで160 hPa |
| l) | **蒸気密度:** | データなし |
| m) | **相対密度:** | 25 °Cで1.596 g/cm3 |
| n) | **溶解度:** | データなし |
| o) | **分配係数:n-オクタノール/水:** | データなし |
| p) | **自然発火温度:** | データなし |
| q) | **分解温度:** | データなし |
| r) | **粘度:** | データなし |
| s) | **爆発性:** | 非爆発性。 |
| t) | **酸化性:** | データなし |

### 9.2 その他の情報
屈折率 n20D 1.275

## セクション10
# 安定性および反応性

### 10.1 反応性
データなし

### 10.2 化学的安定性
普通の状態で安定

### 10.3 危険な反応の可能性
データなし

### 10.4 避けるべき条件
データなし

### 10.5 混触危険物質
強酸化剤、強酸、強塩基、アルミニウム、亜鉛、アルカリ金属

### 10.6 危険有害性分解生成物
燃焼時に二酸化炭素/一酸化炭素の有毒ガスが発生する。
燃焼時にフッ化水素の有毒ガスが発生する。

## セクション11
# 有害性情報

### 11.1毒性に関する情報

**急性毒性**
LD50 経口 - ラット - 1,500 mg/kg
LC50 吸入 - ラット - 4 h - 1,974 mg/l
備考：感覚器官および特殊感覚（鼻、目、耳、味覚）：目：散瞳（瞳孔拡張）。肺、胸腔、呼吸器：呼吸困難。
血液：その他の変化。

**皮膚腐食性/刺激性**
皮膚および粘膜への刺激

**眼に対する重篤な損傷/眼刺激性**
強い腐食作用

**呼吸器感作性または皮膚感作性**
感作性については不明

**生殖細胞変異原性**
データなし

**発がん性**
データなし

**生殖毒性**
データなし

**特定標的臓器への毒性（単回暴露）**
データなし

**特定標的臓器への毒性（反復暴露）**
データなし

**吸引性呼吸器有害性**
データなし

**追加情報**
現段階では、本物質の急性および慢性毒性については不明。
EPA、IARC、NTP、OSHAまたはACGIHから得られる本物質の発がん性に関する分類データなし飲み込むと口や喉への強い腐食作用、および食道穿孔や胃穿孔への危険を引き起こす。

## セクション12
## 環境影響情報

### 12.1 毒性
データなし

### 12.2 残留性および分解性
生分解性
データなし

### 12.3 生物蓄積性
データなし

### 12.4 土壌中の移動度
データなし

### 12.5 PBTおよびvPvB評価の結果
データなし

### 12.6 その他の有害な作用
本品が地下水、水塊または下水設備に流れないようにすること、

## セクション13
## 廃棄上の注意

### 13.1廃棄物処理法
製品：認可された余剰品や非リサイクル品のソリューションを受けた廃棄業者に提供すること
汚染された包装：未使用品として廃棄すること

## セクション14
## 輸送上の注意

### 14.1 国連番号
IATA/ADR/IMDG：3265

### 14.2 UN適切な船積み名
IATA/ADR/IMDG：CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, ORGANIC, N.O.S. (1,1,1,3,3,3-Hexafluoropro-pan-2-ol)

### 14.3 輸送危険分類
IATA/ADR/IMDG：8

### 14.4 容器等級：
IATA/ADR/IMDG：II

### 14.5 環境に対する危険
IATA/ADR/IMDG：なし

### 14.6 使用者に対する特別な注意事項
IATA/ADR/IMDG：データなし

## セクション15
## 適用法令

### 15.1 特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律
製品に対するその他の規制や規定なし

### 15.2 化学物質安全性評価
本製品に対する化学物質安全性評価は実施されていない

## セクション16
## その他の情報

**以下では、セクション2および3で言及している危険有害性情報の全文を記載している。**

**H302** - 飲み込むと有害。
**H302 + H332** – 飲み込むまたは吸入すると有害。
**H314** – 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷。
**H332** – 吸入すると有害。
**H361** – 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。

**追加情報**
上記情報の正確性には万全を期しておりますが、すべての情報を網羅しているわけではありませんので、参考資料としてのみご利用ください。本書に記載の情報は現時点での弊社の知識に基づくものであり、適切な安全上の注意事項に関しては本製品に適用するものとします。

日本

**詳細情報につきましては、Additive Manufacturing Technologiesまでお問い合わせください。**

support@amtechnologies.com

**ヨーロッパ/その他の地域**:+44 114 312 3344

**南北アメリカ**:+1 512 352 9393

